

北九州市立文学館 第15回特別企画展

恋と革命に 生きた女たち

田村 俊子

岡本かの子

高岡智照尼

伊藤 野枝

三浦 環

管野須賀子

金子 文子

平塚らいてう

湯浅 芳子

瀬戸内寂聴



瀬戸内寂聴

2013.11.2sat~12.15sun

◎開館時間 平日 9:30~19:00 土日祝 9:30~18:00 (入館は閉館の30分前まで)

◎休館日 月曜日(ただし11.4は開館、翌日休館)

◎観覧料 一般 500円 中高生 200円 小学生 100円

・年長者施設利用証提示者の割引は2割 ・療育手帳提示者、身体障害者手帳提示者、精神障害者保健福祉手帳提示者及び付添人(身体障害者の方の付添は本人が4級以上)は無料 ・下関市介護保険被保険者証、公的機関が発行した福岡市、熊本市、鹿児島市の65歳以上の市民であることを確認できる証明書提示者の割引は2割

◎主催 北九州市立文学館

◎企画協力 徳島県立文学書道館

◎後援 朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞西部本社 西日本新聞社 NHK北九州放送局 RKB毎日放送 九州朝日放送 TNCテレビ西日本 FBS福岡放送 TVQ九州放送

人間は恋と革命のために生まれてきたのだ...

恋と革命に生きた女たち

北九州市立文学館第15回特別企画展

燃焼させた女性たちがいました。
作家瀬戸内寂聴のライフワークである
伝記小説に登場する、
これら先駆的な女性10人を紹介します。



田村俊子 1884～1945
小説家。日本初の女性の職業作家。

『田村俊子』(文藝春秋新社 1961)



岡本かの子 1889～1939
歌人、宗教家、小説家。一つ屋根の下、夫と二人の恋人と暮らす生活ぶりが驚かれる。

『かの子撩乱』(講談社 1965)



高岡智照尼 1896～1994
祇王寺の元庵主。恋人に身の潔白を証明するため、小指を切り落とす。転変の末、出家。

『女徳』(新潮社 1963)



伊藤野枝 1895～1923
女性運動家。「青鞥」の編集を平塚らいてうから引き継ぐ。アナキストの大杉栄と、関東大震災後の混乱の中虐殺される。

『美は乱調にあり』(文藝春秋 1966) 『諧調は偽りなり』上下 (文藝春秋 1984)



三浦環 1884～1946
オペラ歌手。「蝶々夫人」で世界的な名声を得る。

『お蝶夫人』(講談社 1969)



菅野須賀子 1881～1911
社会主義者。日本史上唯一、女性革命家として死刑を受ける。

『遠い声』(新潮社 1970)



金子文子 1903～1926
社会運動家。朴烈事件で大逆罪に問われる。のち自死。

『余白の春』(中央公論社 1972)



平塚らいてう 1886～1971
女性運動家。雑誌「青鞥」を創刊。「元始、女性は太陽であった」のフレーズで知られる。

『青鞥』上下 (中央公論社 1984)



湯浅芳子 1896～1990
ロシア文学者。作家中條(のち宮本)百合子と同性愛を交わす。

『孤高の人』(筑摩書房 1997)



瀬戸内寂聴 1922～
小説家、僧侶。はじめ瀬戸内晴美として活動するが51歳で出家。法名寂聴。

『比叡』(新潮社 1979)

INFORMATION

ほか、満島ひかり、綾野剛主演で話題の映画「夏の終り」の直筆原稿なども展示します。

恋と革命に生きた女たち

EVENT

開会記念講話

[日 時] 11月2日(土)11:00～12:00
[講 師] 竹内紀子さん(徳島県立文学書道館学芸員)
[会 場] 北九州市立文学館
※申込不要

矢野寛治さん講演会

[日 時] 11月23日(土・祝)13:30～15:00
[テーマ] 伊藤野枝の影と光
[会 場] 北九州市立文学館
[定 員] 100名(先着)
[申 込] 11/3(日)より電話受付(093-571-1505)

矢野寛治(やの かんじ)
書評家、映画評論家。1948年、中津市生まれ。博報堂のコピーライターを経て、現在は西日本新聞など地元紙誌でエッセイやコラムを連載。RKB毎日放送「今日感テレビ」ほかにテレビのコメンテーターも務める。2012年、『伊藤野枝と代準介』(弦書房)を出版。

文学講座

[日 時] ①11月9日(土)13:30～15:00 平塚らいてうと「青鞥」
②11月30日(土)13:30～15:00 岡本かの子
[講 師] 今川英子(北九州市立文学館館長)
[会 場] 北九州市立文学館
[定 員] 50名(先着)
[申 込] 10/18(金)より電話受付(093-571-1505)



〒803-0813 北九州市小倉北区城内4-1
TEL 093-571-1505 FAX 093-571-1525
■JR小倉駅より徒歩15分
■JR西小倉駅より徒歩10分
■勝山公園バス停より徒歩1分
■北九州市役所前バス停より徒歩2分
■小倉北区役所前バス停より徒歩2分
■北九州市都市高速大手町ランプより2分
■駐車場は文学館最寄りの各有料駐車場をご利用下さい。

www.kitakyushucity-bungakukan.jp/